

卒業（修了）年月・学科（専攻） 平成31年3月・環境科学研究科 環境動態学専攻  
氏 名 西平 幸生  
団 体 名 株式会社日吉  
所 属 部 署 管理部 施設1課  
職 種 施設維持管理業務

#### 【会社（団体）の概要・PR】

弊社は創業以来65年、「社会立社・技術立社」を社是に、90以上の許認可と2000あまりの有資格者を保有し、環境・食品などの分析・測定、インフラ施設の維持管理、廃棄物処理や道路維持管理、工業薬品販売などの事業を幅広く手掛け、各種サービスをコンサルティングも含め“ONE-STOP”で対応できる課題解決型環境トータルサポート企業です。また、「環境問題に国境なし」の考えの基、30年に渡る国際貢献活動を経て、各国での事業展開への取組みを拡大しています。

#### 【現在担当している仕事】

入社1年目に取得した浄化槽管理士という資格を生かし、集落の生活排水を処理する施設の維持管理業務に携わっています。この施設では微生物（活性汚泥）を利用することで、生活排水を河川に放流できる水質基準まで綺麗に処理しています。「正常な状態を知ることで初めて異常に気付くことができる」という考えのもと、機器が正常に動いているか、排水が正常に処理されているか巡視点検を行うことが主な業務です。

#### 【働いてみての感想】

施設の維持管理では、時には施設を我が子のように思い業務にあたるのが大切だと強く感じました。より良い維持管理には、機器故障といったトラブルへの迅速な対応や、季節変動に応じた微生物量や空気量の根気強い調整が要求されます。施設を守るのはいかに責任感のもと、排水がどんどん綺麗になる様子からは大きな達成感が得られます。

また、大学の研究とは違い、「いかに効率よく最大限の成果を挙げるか」ということを強く意識するようになりました。研究では納得のいくまで行っていたことも、業務では時間の制約がある為に、業務の優先順位を都度考え更新し、場合によっては妥協点を見つける必要があります。

#### 【大学で学び、現在の仕事で活かされていること】

大学で学んだ環境科学に関する知識、特に1・2回生の間に学んだ基礎知識は、排水処理技術の理解に活かされています。排水処理には、生物や化学、物理、電気など様々な分野が相互に絡み合っており、理解するためには幅広い知識・経験・技術が要求されます。基礎知識があったからこそ、業務の習得がスムーズに行えていると実感しています。

また、現在の維持管理業務において重要な「異常を察知する力」は、研究で培った科学的思考や、実験結果に対して疑問に思う嗅覚が基礎となっています。

#### 【後輩へのメッセージ】

視野を狭めず、様々な業界に興味をもつことをお勧めします。

私は、実験室などでの屋内業務を中心に就職活動を行っていましたが、現在は屋外業務中心の浄化槽管理士という職業に就いています。この職業・分野に関して入社するまで深く知りませんでしたが、業務を経験するうえで、コツコツと真面目に取り組むこの職業は自分に向いていると感じています。なじみのない職業でも、取り組んでみると意外な適性が見つかるかもしれません。視野を広く持ち、新しい世界に恐れず飛び込んでみてください。